

## 6 地域包括ケアの推進

### (1) 地域包括ケアの推進

(令和3年度予算額 10,186千円)

#### ① 地域福祉リーダー養成研修事業

住民主体の福祉コミュニティづくりを推進するため、地域課題に取り組んでいくために必要な知識や技術を学び、新たな地域福祉リーダーを養成します。

令和2年度は、学区・地区社会福祉協議会役員・コーディネーター、鶴岡市社会福祉協議会職員が参加しました。

《令和2年度実績》

日 時 令和3年1月29日(金)

会 場 鶴岡市中央公民館 大視聴覚室

講演・グループワーク 「地域支え合いプランの活用について」

講師・ファシリテーター 東北公益文科大学 教授 武田 真理子 氏

#### ② 社会福祉基金運用益金活用助成

地域福祉活動の推進を図るため、社会福祉に関する事業を行う団体又は個人に対して助成します。

対象者：小学校区ごとに設置された社会福祉を目的とする協議会、住民自治組織等

対象額：定められた対象経費の合計額の4分の3以内の額

	30年度	元年度	2年度
件数	0	1	2

#### ③ 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

地域医療を取り巻く環境が変化する中、市民が地域医療の現状を知り、関心を持ってもらうとともに、地域医療について「ともに考え」、「ともに作り上げ」、地域全体で心の通い合う地域医療の実現を目指します。

《令和2年度実績》

実施状況		出席者数
第1回	日時：令和2年7月27日(月) 13:30~15:30 場所：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール 内容：コロナ禍における地域医療と市民行動について考える 第2波、第3波に備えて、何を行うべきか、何ができるか考える	市民委員：11名 コーディネーター：1名 オブザーバー：3名 傍聴者：6名
第2回	日時：令和2年11月13日(金) 13:30~15:30 場所：鶴岡市総合保健福祉センター にこふる 3階 大会議室 内容：市民の地域医療への理解と普及 ~市民への積極的な情報発信と医療ニーズの把握~ (グループワーク テーマ) ① 地域医療について市民周知や広報の手法を考える ② 地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するには	市民委員：10名 コーディネーター：1名 オブザーバー：5名 傍聴者：6名

第3回	<p>日時：令和3年2月12日（金）13：30～15：30</p> <p>場所：鶴岡市総合保健福祉センター にこふる 3階 大会議室</p> <p>内容：市民の地域医療への理解と普及 ～市民への積極的な情報発信と医療ニーズの把握～ (グループワーク テーマ)</p> <p>① 地域医療について市民周知や広報の手法を考える</p> <p>② 地域医療に関するアンケートやデータ収集を実施するには</p> <p>③ 地域医療市民勉強会のあり方を考える</p>	<p>市民委員：10名</p> <p>コーディネーター：1名</p> <p>オブザーバー：5名</p> <p>傍聴者：0名</p>
第4回	<p>日時：令和3年3月25日（木）13：30～15：30</p> <p>場所：鶴岡市役所 別棟2号館 21、22、23号会議室</p> <p>内容：来年度の市民委員会の内容の検討</p>	<p>市民委員：9名</p> <p>コーディネーター：1名</p> <p>オブザーバー：5名</p> <p>傍聴者：3名</p>

#### ④ ストレッチャー対応タクシー車両維持経費等補助

座位の保持が困難なため、ストレッチャーによる移送を必要とする市民のためにストレッチャー対応タクシーの安定した運行を支援し、医療機関等への移送体制の確保を図ります。

対象者：鶴岡市内に事業所があり、ストレッチャー対応タクシーを運行する事業者

補助額：市内を発着地のいずれかとする補助対象タクシーの運行回数に1,000円を乗じた額  
(上限25,000円/月)と車両維持にかかる補助対象経費の額のうち、低い方の額

	元年度	2年度
件数	2	3

※平成31年4月から施行

## (2) 地域医療の推進

(令和3年度予算額 10,813千円)

### ① 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方が必要な状態になっても、自宅等住み慣れた生活の場で自分らしい生活を続けられるために、地域における医療・介護の関係機関が効果的に連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供体制の推進を図ります。

#### (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

在宅医療地域資源マップ等の情報整備を図り、関係機関へ共有します。

#### (イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討

地域の医療・介護に関する課題を抽出し、課題解決に向け関係機関と協働し対応策を講じます。

#### (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

24時間対応の在宅医療提供体制や、庄内地域の入院調整ルールを活用、および庄内プロジェクトによる質の高い緩和ケア提供により、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を図ります。

#### (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

Net4Uや地域連携パス等の情報共有ツールの活用を推進し、医療・介護関係者の情報共有を支援します。

#### (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取り組みを支援します。

(カ) 医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者を対象とした医療と介護の多職種連携研修会を開催します。

30年度	元年度	2年度
研修会 2 回開催 延べ参加人数 334 人 第 1 回 H.30 年 8 月 10 日 (金) テーマ: 「多職種連携最前線!!」～20 回記念 研修会 この 10 年を振り返って～ ・講義とグループワーク 講師: 山形県保健医療大学 教授 後藤 順子 氏 第 2 回 H.30 年 11 月 27 日 (火) テーマ: ～この先 10 年、すべきことは何か?～ 講師: 東北公益文科大学 准教授 鎌田 剛 氏	研修会 2 回開催 延べ参加人数 334 人 第 1 回 R.1 年 8 月 29 日 (木) テーマ: 「認知症の方の支援」 ・講義とグループワーク 講師・ファシリテーター: 荘内病院 富樫 千代美 氏 <sup>※</sup> こころの医療センター 渡部 真紀 氏 <sup>※</sup> 第 2 回 R.1 年 11 月 21 日 (木) テーマ: 「認知症の方の支援パートⅡ」 ・講義とグループワーク 講師・ファシリテーター: 荘内病院 富樫 千代美 氏 <sup>※</sup> 県立こころの医療センター 渡部 真紀 氏 <sup>※</sup> 湯田川病院 菅原 美智子 氏 <sup>※</sup> ※認知症看護認定看護師	【新型コロナの影響により 令和 2 年度は中止】

(キ) 地域住民への普及啓発

在宅医療・介護に関する普及・啓発を図ります。

(ク) 在宅医療と介護連携に関する関係市町の連携

二次医療圏内にある病院間等との話し合いを行い、広域連携が必要な事項について検討します。

**(3) 地域支え合いの推進**

(令和 3 年度予算額 47,362 千円)

**① 生活支援体制整備事業**

支え合いのある地域づくりを支援するため、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を 1 名（計 11 人）配置し、多様な主体による多様な取り組みのコーディネートを行い、地域の実情に合わせた互助の仕組みづくりを進め、高齢者等の生活支援・介護予防サービスの推進を図ります。また、高齢者や要支援者等を支える人材の育成を目的に「担い手養成研修会」を開催します。

(ア) 地域の支え合い活動の可視化（見える化）

地域の支え合い活動の可視化（見える化）を行い、地域の支え合い活動の推進を図ります。

令和元年度の情報誌「つるおか通いの場 活動紹介～地域のつながり・支えあい～」(700 部)を発展させ、令和 2 年度は、情報誌「和と輪 つるおか」を創刊・発行しました。近所の挨拶・お茶飲み・集まりなども含めて住民同士の支え合いにつながる活動を「地域のお宝」と名付け、多くの中から「ふくし座談会（京田地区）」、児童による「ふれあい訪問（第二学区）」、男の居場所「くしびき男塾」の事例を紹介するとともに、「支え合いの地域づくり」を応援する生活支援コーディネーターの役割を掲載しました。5000 部を印刷し地域住民組織・関係機関に広く配布し支え合いの地域づくりについて周知しました。

(イ) 情報発信及び発表会（見せる化）

「通いの場」や「地域の支え合い活動」などを展開している団体の取り組み内容を紹介することにより、活動の継続意欲の向上や、新規の立ち上げへの機運を高めることを目的に開催します。

《令和2年度実績》

○鶴岡市地域支え合い活動研修会 ～住み続けたい そんな想いをかたちに～

実施日：令和3年2月19日（金）13:30～16:00

会場：メイン会場 鶴岡市総合保健福祉センターにこふる

リモート会場 櫛引生涯学習センター、温海ふれあいセンターホール

内容：第1部 基調講演

「新型コロナウイルス感染症に負けない～地域のつながり・支え合いの役割～」

講師 東北公益文科大学大学院公益学研究科 教授 武田 真理子 氏

第2部 地域での実践活動発表

「買い物支援で地域を元気に」 産直さんぜ 代表 鈴木 正 氏

参加者数：152人

(ウ) 担い手養成研修

対象者：一般市民

内容：担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、同行訪問

《令和2年度実績》

実施状況		修了者数
第1回	実施期間：令和2年11月17日(火)、11月18日(水)、12月18日(金) 通いの場見学：令和2年12月4日(金)、7日(月)、10日(木)、14日(月)、15日(火) 見学補講：令和3年1月20日(水)、2月4日(木) 会場：鶴岡市総合保健福祉センター にこふる	18人

※新型コロナウイルスの影響により、実施予定2回から1回に変更しました。

(エ) 鶴岡市地域ケア推進会議

日常生活圏域レベルの地域ケア会議で明らかになった課題を整理し、解決していくために、保健・医療・福祉等の関係機関の代表者で構成する会議で、ニーズに対応したサービス資源の開発や、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを強化し地域包括ケアの社会基盤整備につなげます。

《令和2年度実績》

実施状況	
第1回	日時：令和2年8月7日(金) 14:00～16:00 場所：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる 3階大会議室（出席委員 12名） 内容：地域ケア推進会議の経過とまとめ、第2層生活支援コーディネーターの活動から見えてきた課題、認知症見守りラベルシール「どこシル伝言板」、民間事業者と県との地域の見守り活動に関する協定、鶴岡市介護予防・日常生活支援総合事業における各サービス等の見直し 等。
第2回	日時：令和2年11月24日(火) 13:30～15:30 場所：鶴岡市役所 別棟2号館21、22、23号会議室（出席委員 13名） 内容：鶴岡市のひきこもり支援の現状、8050問題の事例紹介、居宅介護支援事業者部会からの情報交換、鶴岡市介護予防・日常生活支援総合事業について 等。

第3回	日 時：令和3年2月8日（月） 13:30～15:30
	場 所：鶴岡市役所 別棟2号館21、22、23号会議室（出席委員 13名）
	内 容：生活支援体制整備事業における第2層生活支援コーディネーターの役割、地域支え合い活動の事例紹介 （①地域での除雪支援活動、②長沼・八栄島地区デマンド交通の取り組み、③社会福祉法人による買い物支援事業について）、鶴岡市介護予防・日常生活支援総合事業について 等。

#### （４）新型コロナウイルス感染症対策事業

（令和3年度予算額 0千円）

##### ① 医療従事者支援事業

###### ○医療物資支援

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の徹底を図るとともに地域医療の維持に繋げるため、感染のリスクを負いながらも日夜地域医療を支えている多くの医療従事者に対し、新たに創設した新型コロナウイルス感染症支援寄附金、及び医療従事者の応援を目的としたふるさと納税を活用し、医療物資の支援を行いました。

《令和2年度実績》

贈 呈 品		贈 呈 先
N95 マスク	300箱（10枚/箱）	・鶴岡地区医師会 ・鶴岡地区歯科医師会 ・鶴岡地区薬剤師会 ・鶴岡市立荘内病院 ・鶴岡協立病院 ・鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
アイソレーションガウン	18箱（100枚/箱）	
フェイスシールド	6ケース（200個/ケース）	
プラスチックグローブ	120箱（200枚/箱）	
キャップ	40箱（100枚/箱）	
マテリアルワゴン	4台	
ステンレスハンディカート	3台	

###### ○ブルーライトアップ

イギリスを発祥とする医療従事者への感謝を示す色である青色でシンボリックな建物をライトアップする取組みで、地域医療の最前線で活躍されている医療従事者へ感謝と応援の気持ちを示すため実施しました。

大宝館ブルーライトアップ：令和2年6月15日～7月12日

※その他、月山ダム（6/1～）、荘銀タクト（5/9～）でも実施されました。

##### ② 新型コロナ出前講座

新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識等の普及・啓発を図るため、希望する団体に対し出前講座を実施しました。

内容：①新型コロナウイルス感染症の基礎知識 ②新型コロナウイルスの予防対策

③差別や偏見等の防止

《令和2年度実績》 9団体、参加延べ人数 190人（R2.9～R3.3）